古山史晃医師がJAT賞を受賞
―第51回日本動脈硬化学会総会―

古山史晃医師（昭和大学病院循環器内科）が7月11日、第51回日本動脈硬化学会総会で第11回JAT賞を受賞した。

同賞は、日本動脈硬化学会およびアジア太平洋動脈硬化血管疾患学会の学会機関誌『Journal of Atherosclerosis and Thrombosis (JAT)』（最新インパクトファクター3・478の国際誌）に掲載された論文の中から、独創性、方法論、結果の充実度、考察の内容、論文の波及効果を基に日本動脈硬化学会の編集委員会で審査され、同学会の総会で授与されるものである。

古山医師がJATに投稿した学位論文（医学博士）『Effects of Cardiac Rehabilitation on High-Density Lipoprotein-mediated Cholesterol Efflux Capacity and Paraoxonase-1 Activity in Patients with Acute Coronary Syndrome（急性冠症候群患者におけるHDLコレステロール引き抜き能とパラオキソナーゼ1活性に対する心臓リハビリテーションの効果）」が評価され、同誌へ2018年に掲載された原著論文77編の中から同賞に選ばれた。

小風暁 大学院医学研究科長のコメント

古山史晃先生の学位論文が、日本動脈硬化学会の英文誌であるJATの第11回JAT賞を受賞されました。

本論文は、臨床データを用いて、包括的心臓リハビリテーションがHDLの抗動脈硬化機能を改善し、急性冠症候群患者の二次予防に役立つことを示したもので、包括的心臓リハビリテーションがHDLの量を増加させなくても、HDLのコレステロール引き抜き能の増加、即ちHDLの質を改善させるという新知見を報告しています。

今回の受賞は、学位審査において主査を務めた小生にとっても喜ばしい限りであり、その研究内容が専門家からなる編集委員会において高い評価を受けたことは、大学院医学研究科長としても誇らしく思います。

夏季スポーツ大会報告会開催

夏季スポーツ大会報告会が9月24日、上條記念館で開催された。

東日本医科学生総合体育大会や全日本歯科学生総合体育大会など夏季に行われたスポーツ大会で優秀な成績を収めたクラブと個人を大学として表彰することとし、久光正学長から表彰状が授与された。

久光学長は挨拶で「学生時代に課外活動を通して人間を形成してほしいということが本学の一貫した願いであり、クラブ活動の中からやる気と粘りと積極性、先輩後輩との繋がりを育んでいってほしい」と述べた。

東医体・全歯体 優勝クラブのコメント

陸上競技部　島田　慧さん（医学部5年）

今年の東医体は、走幅跳2位、三段跳で優勝することができました。昨年の東医体では、思うような結果が残せず悔しい思いをしたので、今年勝てたことはとても嬉しく思います。

昨年は大会直前にけがをしてしまい、勝てないかもしれないと気持ちの面で負けていたところがありました。そのため今年は勝つことだけを考え練習に取り組んできたこともあり、優勝することができました。今後は、けがをすることなく勝つことにこだわって練習に励んでいきます。

最後になりますが、猛暑の中、ご多用にも関わらず応援に来てくださったOB・OGの先生方には大変お世話になりました。感謝申し上げます。今後ともご支援、ご声援よろしくお願いいたします。

医学部バスケットボール部（女子）

白神　美織さん（医学部3年）

このたび、東日本医科学生総合体育大会で3年ぶりに優勝をすることができました。普段の全学部の25人での活動に比べ、プレイヤーが9人と少ない人数での戦いでしたが、どの試合も明るく楽しんで戦えたことが一番嬉しかったです。

そして、長野まで来てくださった部長の泉﨑先生、OB・OGの先輩方、共に練習してきた全学部の仲間など沢山の方々の応援が私達の何よりものエネルギーとなりました。本当にありがとうございました。

これからも感謝の気持ちを忘れず、勉学共に日々精進していきたいと思います。どうぞ引き続き皆さまのご指導、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

馬術部　山本　珠里さん（医学部2年）

今年の東医体で私が出場した種目では、馬場馬術団体種目で優勝することができ、チームの総合準優勝に貢献できた事を嬉しく思います。日頃からご指導頂いている方々に心から感謝致します。

馬術競技では、試合本番でパートナーとなる馬の特徴や癖を準備運動や下見の段階で捉えなければいけません。試合前の夏合宿では、普段乗っている馬での練習に加え、色々な馬に乗って基礎的な練習をする機会を頂きました。これらの練習のお陰で色々な馬に対応する力が付き、同時に多方面から自分の悪い癖を見つけて修正することができました。

来年度の東医体では私達が主管校となり、富士吉田キャンパスの馬場にて東医体を開催します。安全かつ円滑な試合運営を行えるよう準備を進めていくと共に、総合優勝を勝ち取るため、より一層努力を重ねて参りたいと思います。

柔道部　大川　哲平さん（医学部2年）

東医体優勝は今年の目標の1つでした。それが達成出来たということで、素直に嬉しいです。

昨年の東医体は3位で終わってしまい、悔しい思いをしました。そこで今年は部活に真剣に取り組むだけでなく、部活がない日は母校の練習に参加させてもらい、自分より重い相手とも積極的に練習しました。色々な人の協力があってこその今回の結果です。いつも一緒に練習してくださる柔道部の先輩方や同期、練習をサポートしてくださっているマネージャーさん、そして柔道部を支えてくださっている先生方、OB・OGの先生方に、本当に感謝しています。

今後の目標は卒業まで東医体を優勝し続け、5連覇することです。今後ともご支援、ご声援よろしくお願いいたします。

陸上競技部　宮本　聖さん（歯学部5年）

陸上競技部は長野県松本市で行われた全歯体に参加し、去年に引き続き2年連続で総合準優勝することができました。個人では110mハードル、400mハードル、4×400mリレーで優勝、4×100mリレーで準優勝することができ、大変嬉しく思います。応援してくださった方々には心から感謝しております。

優勝を目標に、春先から全員で練習に励んできました。私は同期のメンバーに恵まれ、お互いに刺激を受けながら練習を続けることができました。女子部員が少ないため、試合ではマネージャーにも出場してもらい全員で戦って、自己ベストも多く出た大会になりました。

今大会4年の北崎君が2種目で大会新記録を出し、MVPを獲得しました。来年は勉学に励みながら最後の全歯体でMVPを獲得し、医療系の大会だけではなく県選手権や関東インカレでも入賞できるように残り1年間、部活を頑張っていこうと思います。

水泳部　岡田　昂己さん（歯学部4年）

水泳部は、第51回全日本歯科学生総合体育大会水泳部門に参加し、30年ぶりの男子総合優勝、そして水泳部創部以来初の男女総合優勝という成績を残すことができました。

1年を通して、部員全員が今大会に向けて目標を高くもち、ベストを尽くしたことが優勝という結果に繋がったと思います。応援してくださったOB・OGをはじめ多くの皆さまに心から感謝を申し上げます。何より部員が自らの選んだ種目で楽しみながら試合に臨み、優勝できたことは大きな自信に繋がりました。また、マネージャーや他学部の部員の支えも大きな力となりました。

卓球部　田上　理沙子さん（歯学部6年）

今年の全歯体は広島県で行われ、シングルスで優勝、ダブルスで準優勝をすることが出来ました。今年は特に最高学年としての出場でもあり、例年以上に強い意気込みで臨みました。

シングルスでは5連覇がかかっており、いつも以上にプレッシャーがありましたが、OB・OGの方々を始め、同期や後輩達の支えがあり、無事達成することができ、特別嬉しい優勝でした。6年生ということで、卒業試験、国家試験が控えている中、あまり部活に参加することが出来ませんでしたが、その分、夏の合宿では例年以上に一球一球を大切にして練習に励みました。

残りの大学生活、勉学に集中し、卒業後もお世話になった卓球部の発展のために恩返しをしていきたいです。

今後も、支えてくださっている皆さまへの感謝を忘れずに、強い意志をもって精進していきたいと思います。

10/21(月) 17：30 START!
参加無料

SD認定講習会

ヒューマンライツトークショー2019

◆ 日時：2019年10月21日(月)17：30-19：00（開場17：00）
◆ 場所：昭和大学　上條記念館　上條ホール
◆ 講師：上原　大祐さん（2010バンクーバーパラリンピック銀メダリスト）
◆ 演題：『自分がワクワクする事は、世界がワクワクする事だ』
～僕らに出来る事は、この世にあふれている～

【主催】昭和大学人権啓発推進委員会　【問合せ先】人事部人権啓発推進課　03-3784-8963